

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学放射線医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 11月

福島県立医科大学医学部放射線医学講座 伊藤 浩

■ 研究課題名

呼吸に伴う上腸間膜動脈変動の CT 画像を用いた評価

■ 研究期間

2024年11月 ～ 2026年10月

■ 研究の目的・意義

上腸間膜動脈（superior mesenteric artery；SMA）は腹部大動脈から分岐する動脈の一部ですが、その角度によって上腸間膜動脈症候群やナツクラッカー症候群など様々な疾患が報告されています。SMAの角度と疾患との関連についてはさまざまな報告がありますが、呼吸性にSMAの変動を検討した研究は少なく、患者の体重や身長などの身体データのSMAの角度と相関しているか、吸気と呼気でのSMAの角度がどのように変化するか、どのような状態ならば変化率が高いのかを検討した研究はほとんどありません。また、腹部のCTは吸気（息を吸い込んで止めた状態）で撮影されることが多いですが、呼吸の動態から考えると、人体の臓器は呼気の状態であることが多いため、吸気のCTではSMAの角度の評価が不十分となる可能性があります。一部で術前に呼気（息を吐いて止めた状態）でCTを撮影することで、血管の走行がより術中に近いという文献もみられるが、呼気CTとSMAの角度についての研究はほとんどありません。

本研究の目的は呼吸性変動によるSMAの分岐角度の変化を明らかにすることと、副次的な目的としては、どのような患者ならばSMAの角度が変化するか、SMAの角度と体重などの身体データがどのように相関するかを明らかにすることです。

■ 研究対象となる方

2016年1月から2020年12月までの間に一回のCT撮影で吸気と呼気の造影CTが撮影された患者様が対象です。

■ 研究の方法

当院で撮影された腹部の造影 CT 画像のうち、吸気と呼気の腹部 CT 画像における薄いスライス厚のデータを用いて矢状断、冠状断に再構成を行います。矢状断で吸気時と呼気時の SMA と腹部大動脈の分岐角度を、冠状断で吸気時と呼気時の横隔膜の移動距離を測定します。

また、電子カルテのデータから CT 撮影時の患者の身長と体重を確認し、腹部 CT 画像から臍部のレベルで内臓脂肪を測定します。

それぞれの測定データを用いて、吸気と呼気の SMA の角度の変動や、身長、体重、との相関の有無を検討します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024 年 12 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学放射線医学講座であり、研究責任者は放射線医学講座伊藤 浩です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一 であり、それらの情報は福島県立医科大学放射線医学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部放射線医学講座 担当：関野 啓史

電話：024-547-1334 FAX：024-547-3789

e-mail：sekino@fmu.ac.jp